

貝化石の採り方(大桑層)

1. まず化石を見つけることから始めます。地層の表面に化石がたくさん見えていますが、まっ白いものは雨水などで痛んでいるためすぐにこわれてしまいます。地層を2～3センチくらい掘ってみると、そこにはピンクや肌色をした化石が見つかるはずですが、これが痛んでいない化石です。白い貝化石が見えているあたりの地層を少し掘ってみて、ピンクや肌色をしたいい化石(「新鮮な化石」と呼びます)を見つけてください。



地層表面の白い化石は痛んでいることが多い

2. 化石はこわれやすいものです。化石にハンマーやクギなどがあたってしまったらすぐにこわれてしまいます。そのため、化石が見つかったら、化石の大きさと同じくらいはなれたところから掘り始めるようにしてください。直径が5センチの貝化石だったら、化石から5センチくらいはなれたところから掘るといことです。化石のまわりをぐるりと数センチくらい掘り下げていき、そして化石についた砂といっしょに化石を掘り出してください。



化石から離れたところから掘り始める

3. 掘り出した化石はまわりについている砂を落とさずに新聞紙でていねいに包みます。ここでむりに砂を落とそうとすると化石がこわれることが多いので気をつけてください。水で洗うことは化石がよけいにこわれやすくなるのでぜったいにやめてください。そして、新聞紙で包んだまま化石をビニール袋に入れて持ち帰ります。



掘った化石は砂がついたまま包んで持ち帰る

4. 家に持ち帰った化石はビニール袋から出し、新聞紙に包んだままで暗くて乾いたところに1週間くらいおいておきます。1週間くらいすると化石のまわりについた砂がすっかり乾いているはずで、この乾いた砂は歯ブラシや細かいクギ、つまヨウジなどでかたんに落とすことができます。化石の表面をこわさないように気をつけながら、まわりについた砂をそっと落としてください。このときにも化石をこわしてしまっても、瞬間接着剤でくっつければもとどおりになります。



歯ブラシやつまヨウジで化石についた砂を落とす

5. 砂を落としてきれいにした貝化石は、お菓子のあき箱などにいれてきちんとかざっておきましょう。図鑑などで調べれば化石に名前をつけることができます。見つけた化石には、その名前(種類)、見つけた人の名前、いつ、どこで採ったのか、を紙に書いて残しておくようにしましょう。



採集した化石は名札をつけて箱に整理する

参考図書

北隆館「学生用 日本古生物図鑑」など

かせきさいしゅう どうく
化石採集の道具
 ハンマー(大きめのカナヅチ)
 タガネ(大きなクギ)
 軍手・ぼうし
 新聞紙一日分
 厚手のビニール袋(スーパーの袋)
 地図
 リュックサック
 定規やものさし
 ノートと鉛筆

あつたら べんりなもの
 古い歯ブラシ・たわし
 瞬間接着剤
 カメラ



こんなに大きなホタテガイの化石がとれることも!

金沢大学自然計測応用研究センター地質学研究室
 助教授 塚脇真二